

○新教育理念及び新教育目標について

| | 新 | 現行 | 考え方 |
|------|---|---|--|
| 教育理念 | 子どもたち一人ひとりが、人格の形成と互いの個性の尊重を基本として、地域や社会の中で自立し、健康で幸福に生きていく力を身につけ、狛江で受けた教育を誇りとして、平和で心豊かな共生社会を築き発展させる力を身につける教育の実現を図る。 | 未来を担う子どもたち一人ひとりが、人格の形成と互いの個性の尊重を基本として、地域や社会の中で自立し健康で幸福に生きていく力を身につけ、狛江で受けた教育を誇りとして、少数者の立場も尊重し、自由に意見を交わして真理を探究し、平和で心豊かな明るい相互扶助の社会を築き発展させる力を身につける教育の実現を図る。 | 多様な子どもたちがいる現実を踏まえ、今を生きることを大切にすることへの想いから、「未来を担う」を除外した。 子どもたちを取り巻く状況が多様化・複雑化する中で、多様性を認め合う共生社会（インクルージョン）の実現に向けた視点を取り入れるために、「少数者の立場も尊重し、自由に意見を交わして真理を探究し、平和で心豊かな明るい相互扶助の社会を築き」を「平和で心豊かな共生社会を築き」に変更した。 |
| | 市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、健やかで豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって学び、適切に活かすことのできる社会の実現を図る。 | 市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現を図る。 | 「豊かな」の文言のみだと金銭的な裕福といった意味で捉えられる可能性があるため、心身ともに豊かであるてほしいという意味も込めて、「健やかで」を追加した。 |
| 教育目標 | (1) 互いの生命と人格・人権を尊重し、地域を愛し社会に貢献する意識の醸成 | (1) 互いの生命と人格・人権を尊重し、地域や社会に貢献する意識の醸成 | (2) の郷土を愛するという内容を(1)に統合させ簡潔にまとめ、狛江への愛着を強調した。 |
| | (2) 知・徳・体の調和がとれた力をはぐくみ個性や創造力を伸ばす学校教育の充実 | (2) 確かな学力の定着と個々の能力や創造力を伸ばし、郷土や国を愛する心をはぐくむ学校教育の充実 | 狛江市の現状として、学力は高く、体力が低いという傾向に鑑み、学力＝知と捉えられがちであることから、「学力」ではなく、「知・徳・体の調和」という文言を取り入れた。 |
| | (3) 生涯にわたり主体的に学ぶことができる学習環境と運動環境の整備と拡充 | (3) すべての世代にわたる市民のための学習環境と運動環境の整備 | 「生涯にわたり」という言葉を入れ、教育理念を受けての目標とするとともに、今後の狛江市の様々な施設等の拡充を視野に、「拡充」という言葉を追加した。 |